

伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会主催  
第1回フォーラム

# つなげます 伝統構法

伝統構法新委員会キックオフフォーラム@京都

伝統構法の設計法作成のための新委員会が平成二十二年より三ヶ年計画でスタートしました。私たちが何をめざし、どう動くのか。鈴木祥之委員長と四つの部会の主査が公開でご説明し、実務者の皆さんと質疑応答する場をもうけます。みなさまのご来場をお待ちしています。

平成22年

日時：**6月5日(土) 13:30~17:30** (12:30 受付開始)

会場：**ひと・まち交流館 京都**  
2階大会議室

京都市下京区 西木屋町通上ノ口上る  
梅湊町83番地の1 (河原町五条下る東側)

参加費：**無料** (資料冊子配布付)

定員：**先着300名**

お申込：**NPO法人 緑の列島ネットワークWebサイト**  
<http://www.green-arch.or.jp/dentoh/>  
または Fax：077-525-5609

問合せ：伝統構法新委員会キックオフフォーラム@京都事務局 (木考塾)  
Tel：077-525-5609 mail：mokkou@mediawars.ne.jp

主催：伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験検討委員会

共催：(財)京都市景観・まちづくりセンター 後援：国土交通省 後援予定：京都府・京都市・滋賀県

事務局：NPO法人 緑の列島ネットワーク (当委員会補助事業者)

写真：さのはるひと



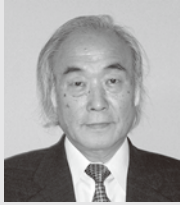
平成19年の改正基準法以来、伝統構法の建物は確認申請の受付や工事の着工が著しく減少し、危機的状況に置かれています。そこで平成20年度に「伝統的構法の設計法作成及び性能検証実験」検討委員会が設けられ、伝統構法あるいは伝統的構法（以後、伝統構法）の木造建築物の設計法の確立をめざして、設計法の検討、実大振動台実験、要素実験、調査、材料実験等が行われてきました。

平成22年度からは、これまでの検討結果を踏まえながら、新しい委員会で石場建て構法を含む伝統構法木造建築物の設計法のさらなる検討を進めていきます。目指すゴールは、実務者が実践的に使え、日本の木の文化の中核をなす伝統構法を未来につないでいくことのできる設計法の確立です。そのために必要となるさまざまな課題を、設計、実験、構法歴史、材料の4部会で検討します。

伝統構法の技法や木の文化を大切に、実務者との対話を重視する新委員会では、新しい航路のスタートにあたり、みなさんに新委員会がめざしていること、実現手段、スケジュールなどを明らかにするために、キックオフフォーラムを行うことにしました。ぜひお越しください。

※この委員会は、国土交通省住宅局による平成22年度木のまち・木のいえ整備促進事業のうち「木造住宅・建築物等の整備推進に関する技術基盤強化」事業として実施されるものです。

## 私たちが新委員会を進めていきます



### 検討委員会 鈴木祥之委員長

(立命館大学グローバル・イノベーション研究機構 教授)

石場建てを含む伝統構法を構造力学的に解明し、自由度の高い合理的な設計法について研究者、実務者、行政とともに検討を行い、実務者が実践的に使える設計法の作成を目指します。



### 設計法部会 主査：斎藤幸雄 (広島国際大学 工学部建築学科 教授)

伝統構法のすぐれた変形性能や土壁以外の耐力要素も正しく評価でき、伝統構法にふさわしい設計法をつくるのが私の目標です。まずは今、現実に滞っている伝統構法の現場実務に配慮し、「伝統構法を活かす耐震設計マニュアル」※に立脚した実務者に使いやすい設計法を緊急課題として手がけてゆきます。

※2004年4月 学芸出版刊。木造軸組構法建物の耐震設計マニュアル編集委員会 編著。発刊以来、伝統構法関係者によく用いられている。通称・関西版マニュアル。



### 実験検証部会 主査：後藤正美 (金沢工業大学 環境・建築学部建築系建築学科 教授)

伝統構法の耐震性は「耐力の強さより変形性能で勝負」です。全体でしなやかに地震力をかわし、粘り強く倒壊しないという特徴をとらえるために、初年度は石場建てを主にした試験体をつくり検証します。同時にデータベースワーキンググループでは設計に必要なデータをとりまとめ、最終的には実務者のみなさんに公開、使っていただける形にします。



### 構法歴史部会 主査：麓 和善 (名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授)

現在普通に施工されている「木造在来工法」は、本来の伝統構法とはいえません。伝統構法の設計法をつくるには、まず本来の伝統構法とは何か、明らかにする必要があります。明治期以前の古い文献や文化財遺構の修理報告書などを調べることで、伝統的な継手・仕口、部材寸法等を明らかにするのが当部会の使命です。



### 材料部会 主査：小松幸平 (京都大学 生存圏研究所 教授)

伝統構法に適した材とは何かを明らかにします。いちばん大きいのは乾燥の問題。製材所出荷時、加工時、建て方、竣工と含水率がどう変化し、それが接合部や部材の強度性能にどのような影響を与えるかを調べます。また、伝統構法の民家で使われる古材、丸太材の強度や腐朽・蟻害など耐久性を評価する方法も確立します。

## プログラム

12:30 受付開始

13:00 開場

13:30 開会

第一部

- 休憩 -

第二部

17:30 終了

(予定)

### 第一部：新委員会で何をめざすか

- ・主催者挨拶
- ・国交省挨拶
- ・鈴木祥之委員長「新委員会でめざすこと」

### 第二部：部会主査と実務者の対話で知る事業の具体的な方向性

- ・設計法部会の実施計画 (斎藤幸雄主査)
- ・実験検証部会の実施計画 (鈴木祥之委員長)
- ・構法歴史部会の実施計画 (麓和善主査)
- ・材料部会の実施計画 (小松幸平主査)

※それぞれの主査からの説明ののち、実務者委員からの質疑に答えます。その後、会場との質疑応答の時間も、もうけます。

※主査が説明することは、当日資料として無料でご来場の方に配布します。

### お問い合わせ：

NPO法人 緑の列島ネットワーク

伝統構法新委員会キックオフフォーラム@京都事務局(木考塾)まで

TEL / FAX : 077-525-5609

mail : mokkou@mediawars.ne.jp

参加申込 緑の列島ネットワーク Webサイト <http://www.green-arch.or.jp/dentoh/> もしくは下欄にご記入の上 Fax 077-525-5609

お名前	ご所属	Tel	Fax または メールアドレス
<hr/>	<hr/>	<hr/>	<hr/>
<hr/>	<hr/>	<hr/>	<hr/>

先着300名  
申込期限 5/28 (金)

混雑が予想されます。申込期限前でも定員に達し次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください。申込み後、事務局から受付番号をお送りします。一週間以内に連絡がない場合は、手続きがうまくいっていない可能性がありますので、お問い合わせください。お問い合わせの上でご来場の場合でも、参加者1名ごとのお名前、ご所属、Tel、Faxまたはメールアドレスを明記してください。お申込みいただいても、開会時間を過ぎて来場された場合は席がなくなることもあり得ます。ご了承ください。